えんだより

R3.6

ひかり保育園

6月になりました。例年でしたら、梅雨入りはいつかなぁ～というところですが、今年はただいま梅雨の真っ只中！･･･それにしては、過ごしやすくありがたいことです。

今日はたいようぐみとつきぐみがさつま芋の苗植えを行いました。保護者のおじいちゃんであり地域の協力隊であるYさんに教えていただいて毎年体験させていただいています。昨日畝を作ったところに子どもたちが「土のお布団掛けて♪」「美味しくなぁれ♪」と言いながら可愛い手で優しく植えてくれました。秋の収穫が楽しみです。

の予定

1日	芋苗植え
	つきぐみ個人面談（～7日）
8日～11日	出雲西高実習（2名）
11日	島根大学原広治先生を迎えての研修会
14日	身体測定の週
15日	ひかりクリーンデイ
16日	避難訓練
17日	Fun Fun English
18日	お弁当の日
22日	誕生会
23日	歯科検診
25日	集金日
	布団持ち帰りの日
26日	早朝奉仕作業（つき・そら・しずく）

夏祭りについて

７月１０日に予定していましたが、今年度は、７月９日（金）に、保育園内で園児だけで夏祭りを行います。また、同日の夕方からは、たいようぐみの太鼓演奏披露など、たいようぐみ親子を対象にした夏祭りを行います。（たいようぐみにはおたより配付済）

今日はどの本よもうかなぁ

どんな生き物も一生懸命生きている　　安井素子：執筆

子どもの頃、虫が大好きだった。セミもカエルもカブトムシもザリガニもなんでも平気！

私は子どもの頃、たくさんの虫を捕まえて朝起きたら動かなくなっていたこともあった。でも、どの命もいとおしく、大事にしたい気持ちは誰よりもある。

この世の中にはこんな生き物も一生懸命生きているんだね。子どもたちが触りすぎて死んでしまったとしても、虫の生態系には支障を及ぼすこともない。

苦手な人もいるかもしれない。でも、「きゃ～やめて～！」とは言わないで、ちょっと子どもたちと虫を観察してみてはどうでしょう。

📖絵本の世界でも虫たちは一生懸命生きています

2歳児～　むしむしでんしゃ

3歳児～　昆虫記

かまきりのカマ―くんといなごのオヤツちゃん

4歳児～　サラダとまほうのおみせ

むしプロ

虫の大好きな子どもたち　保育園の散歩でもいつも虫探しが始まります。おうちで虫の本を親子で見る時間を持たれてもいいかもしれませんね　　園長：筆

～どんなつらいことも　悲しいことも　嬉しいことも　楽しいことも～
みんな　いつかの　いい日のためにある～

ひすいこうたようエッセイ集より抜粋

僕には記憶を封印したほどの幼少期のトラウマがあります。大好きだった幼稚園の先生がある日殺されてしまったのです。何年も自らの記憶を封印していましたが、ずいぶん経ってから幼少期のトラウマと向き合う心理療法のワークをしました。そのワークで本当はどうしたらよかったのかとの質問に、犯人を幸せにしたかった。犯人が幸せならきっと先生を殺さなかった。と答えました。そして、その事件があったから、今自分は人が幸せに関する本を書いてきたんだということに気がつきました。

作家の曽根綾子さんは、答えを出すのは人間ではなく　常に時間であると言っていました。時が、答えの出ない「嘆きの涙」を先生への「感謝の涙」に変えてくれました。どんなにつらいことも　悲しいこともみんな　いつかのいい日のためにあるんですね。